

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

防火材料認定品

NM-8585 不燃材料

QM-9816 準不燃材料

RM-9364 難燃材料

アクリル樹脂エマルジョンペイント【内部用】

ビニデラックス500S

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー **2種**

より扱いやすく、より環境へ配慮

1 原料に有害な有機溶剤を不使用

溶剤アレルギーに配慮しました

厚生労働省室内空気中化学物質の室内濃度指針 指定13物質 無配合

2 低VOC

塗料中のVOC成分を1%以下にしたため、
塗装直後からVOC放出量がほとんどありません

3 超低臭

独特の塗料臭を極力抑えました

4 マット感、平滑性の向上

底艶が少なく、ハケ目、ローラー目が
目立ちにくくなりました

適用下地

コンクリート、モルタル、石膏ボード、ケイカル板、各種旧塗膜

用途

事務所、居室、各種ホール、飲食店、学校等の室内壁や天井面

塗膜性能 JIS K 5663 2種 規格試験結果

試験項目	規格	試験結果	試験項目	規格	試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること。	○	塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること。	○
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障がないこと。	○	隠蔽率% (白および淡彩)	95以上	○
低温安定性 (-5℃/18hr→23℃/6hr×3サイクル)	変質しないこと。	○	耐アルカリ性	18時間浸したとき異常がないこと。	○
			耐洗浄性	100回の洗浄に耐えること。	○
乾燥時間	標準状態	2時間以内	○		
	5℃	4時間以内	○		

標準塗装仕様

工程	塗料名・処置	希釈率(重量%)	標準所要量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間(23℃)	塗装方法
素地調整	ゴミ・汚れなどを除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗 ^{※1}	EPシーラー白 上水	100 0~50	0.09~0.12	1	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上塗	ビニデラックス500S 上水	100 0~15 ^{※2}	0.12~0.14	2	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※1 下塗には、上記以外にEPシーラー透明、エポカチオンシーラー白、又は透明等が使用可能です。

※2 安定した平滑肌仕上げとするには、5~15%程度の希釈をおすすめします。

※必要に応じてパテ処理、研磨、吸込み止め補修塗りを実施してください。

※ケイカル板へ塗装する場合は、アレスダイナミックシーラーアクア、又はアレス水性ケイカルシーラーをご使用ください。

※標準所要量：被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釈する前)の使用質量。 塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釈する前)の付着質量。

塗付け量についてはEPシーラー白は 0.07~0.09kg/m²/回、ビニデラックス500Sは 0.10~0.12kg/m²/回になります。

健康リスクに対する室内建築用塗料の目標基準

(一社)日本塗料工業会設定目標値		評価結果
塗料設計条件	エマルジョン塗料	ビニデラックス500S
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系溶剤	0.1%以下	適合
アルヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質	0.1%以下	適合
生殖毒性物質		
変異原性物質		
感作性物質	0.1%以下	適合

荷姿・標準塗坪

製品名	容量・荷姿	標準塗坪
EPシーラー白	15kg石油缶	125~166m ² /缶
ビニデラックス500S	20kg石油缶	71~83m ² /缶
	4kg缶	14~16m ² /缶

施工上の注意事項

- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚により変わります。
- 低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 改裝時、やに、あくが付着している場合は、あらかじめ中性洗剤などで拭き取った後、ストップシーラー、又はアレス水性エポキシを塗付してください。
- 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。なお、希釈率は色相及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 一部の塗色、特に黄・赤・青・緑・オレンジ系等の濃彩色は顔料の特性上、隠れ性が弱い傾向にあり、既定の塗装回数では仕上がらない場合があります。
- 刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- かび等が付着している場合は、次亜塩素酸ナトリウム水溶液等で拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 補修用は同一ロット、同一塗装方法で行ってください。

- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。部分的に仕上がり性を確認した上で決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- シーリング材上への施工はできるだけ避けてください。塗膜が密着しないことがあります。
- 間隙が広いシーリング打設部は、塗膜がひび割れる可能性があります。なるべく避けてください。
- 著しく結露が生じるような場所での使用は塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生が生ずる場合がありますので、避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。塗膜の割れ、乾燥不良、タレ等の不具合が生じます。施工条件が特に厳しくなる冬場は、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。使い切れずに材料を保管する場合は、しっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早く目に使い切ってください。
- 降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生した際には、水道水で十分に洗浄または水拭きにより除去した後、十分乾燥させてください。
- 公共建築工事標準仕様[新築・改修]につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 製品の取扱いについては、SDS(安全データシート)に従ってください。
- ご使用の際には安全管理に注意し作業を行ってください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 対応皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診

- 察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 注意 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することをのぞかないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(21年10月05日PKO) カタログNo.885